

歯科医のための 臨床腫瘍学研修プログラム（研修登録医）

プログラム名：がん専門医に必要な総合的な医療の習得

対 象：

既に口腔がんの治療経験を有する歯科医、歯科口腔外科専門医を対象とする

目 標：

- 1) 口腔領域・頭頸部は勿論のこと、他領域を含め、広く臨床腫瘍学を体系的に研修する
- 2) 専門的ながん薬物療法の知識を習得し、実際を経験する
- 3) がんの手術療法を含めた集学的治療法など最新のがん治療法の知識を習得し経験する
- 4) 緩和ケア、がん看護、がんチーム医療などの知識を取得し経験する
- 5) がん治療における口腔ケアの知識を習得し、実践する

方 略：

- 1) 期間・研修開始時期： 6か月間・任意に設定できる
- 2) 指 導 医：鶴澤 一弘（歯科・顎・口腔外科科長代理、准教授）、滝口 裕一（臨床腫瘍部部长、教授）、堺田 恵美子（臨床腫瘍部、助教）、他
- 3) 募集定員：同時に5名まで
- 4) 研修内容・スケジュール
 - ① カリキュラムは、「NPO 法人日本臨床腫瘍学会 臨床腫瘍学コアカリキュラム (Recommendation for a Global Core Curriculum in Medical Oncology by ESMO/ASCO task force on global curriculum in medical oncology に基づく)」に準拠している
 - ② 本研修プログラムにおける、診療領域の定義は以下の通りとする
必須診療領域： 呼吸器領域、口腔・頭頸部領域、消化器領域（消化管、肝・胆・膵を含む）、乳腺・甲状腺領域、婦人科領域、緩和ケア領域
選択診療領域： 造血器領域、泌尿器領域、脳神経領域、皮膚領域、小児領域、骨・軟部領域、性腺外胚細胞腫瘍、原発不明がん
 - ③ 研修内容
 - ・ 基礎科学：研修期間を通じ、文献渉猟、抄読会、セミナー、各種専門学会および教育セミナーへの出席・討論等を通じ、自己研鑽を中心に研修する
 - ・ 悪性疾患の管理、治療の原則：研修期間を通じ、実際の診療を通じて習得する。この中で、緩和ケアに関する項目については、臨床腫瘍部病棟カンファレンスを中心に研修する
 - ・ 悪性疾患の管理、治療の原則：患者教育： 研修期間を通じ、実際の診療を通じて習得する
 - ・ 生命倫理，法的・経済的問題： 研修期間を通じ、実際の診療を通じて習得する
 - ・ 技術： 研修期間を通じ、実際の診療を通じて習得する
 - ・ 各種がんの管理、治療に関する研修：研修期間中、臨床腫瘍部病棟において入院患者の管理・治療を研修し、通院治療室において外来化学療法を研修する。

修了要件と評価：

1) 研修修了要件

①研修実績（見学を含む）

必須診療領域すべてについて1例以上の研修実績

必須診療領域のうち、3領域以上より各領域3例以上の研修実績

必須、選択診療領域より、合計で20例以上の研修実績

②臨床腫瘍部カンファレンス参加

研修期間中の臨床腫瘍部カンファレンスに参加、討論する

③オンコロジーカンファレンス参加

研修期間中のオンコロジーカンファレンスに参加、討論する

④その他、研究会、セミナーへの参加

研修期間中に、研修プログラム責任者、研修指導医の指定する研究会、セミナーに参加、討論する

2) 評価

以下の目的達成を实地試験とレポートで評価する

- 1) 各領域悪性腫瘍の治療法の原則と最新の知見についての知識を持ち、学会・論文発表による新しい研究成果を批判的に判断・吸収する能力を有する
- 2) 高い倫理性をもって、患者と良好なコミュニケーションをとりつつ、がんの診療、臨床試験を行うことができる
- 3) 口腔がんに対する、適切で安全な薬物療法を行うことができる
- 4) 主要な悪性腫瘍に対する、適切で安全な薬物療法について理解する
- 5) がん治療認定医機構が認定する「がん治療認定医」試験に合格する能力を有する
- 6) 「研修内容」で定めた20症例の研修実施患者の中から5例以上について、日本臨床腫瘍学会が実施するがん薬物療法専門医試験に準じた症例報告書を提出する

修了認定

評価基準を満たした者にコース修了証書を授与する